



成田市では、中学校、義務教育学校後期課程で実施されている休日の部活動を令和8年3月末までで停止することを目指し、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる」という意識のもと地域クラブを立ち上げ、地域の持続可能で多様な環境一体的な整備を進めています。

No. 1 1
発行：成田市教育委員会



第2回成田市「部活動の地域移行」に関する協議会

令和7年1月14日（火）に今年度2回目となる成田市「部活の地域移行」に関する協議会が開催されました。今回の協議会では、現在実施している第2期モデル事業の進捗のほか、来年度に向けた地域展開の内容について主に協議を行いました。

現在進めているモデル事業については、滞りなくほぼすべてのクラブが活動しており、今年で2年目となる柔道クラブは地域クラブとして大会に出場しているとの報告がありました。また、他のクラブの指導者も大会参加への意思はあり、今後検討を進めてまいります。

また、令和7年度9月以降の移行について、今回協議会において話し合いを行いました。教育委員会では、以下の理由からモデル事業を継続実施する提案を行いました。

- 第2期モデル期間の形態では、小中体連開催の大会に出場できない種目があるため、中学校区を意識した地域クラブ化を進める必要がある。
- 少子化の中、地域クラブを運営していく上で活動場所までの移動を検証する必要がある。
- 将来的に地域クラブを展開する規模や環境を実際に近い形で作り、適正な受益者負担額を検討・協議する必要がある。

そこで現状稼働している11クラブから、さらに30クラブへと規模を拡大した上で、令和8年3月までを第3期モデル事業として、モデル事業を継続することとしました。なお、モデル事業実施中は家庭負担の月謝は行わないこととします。

市内には100近い部活動がありますが、令和7年9月（新人戦終了後より）からモデル事業として展開するクラブは30程度を予定しております。今回地域クラブ化しない部活動は、部活動として継続して活動していきます。

今後も地域クラブ運営における課題（指導者の確保、活動場所の確保、適正な月謝額の設定、活動場所までの移動についてなど）を洗い出し、子供たちが不利益を被ることがないよう進めてまいります。

協議会にて決定した主な内容

- ・モデル事業を令和8年3月末まで継続し、展開クラブを30程度に増やす。
- ・次年度の協議会の開催回数を2回から6回に増やす。
- ・次年度の協議会メンバーに成田市PTA連絡協議会の代表にも参加していただく。



協議会参加メンバー

- ・教育長
- ・教育指導課長
- ・シティープロモーション部長
- ・成田市スポーツ協会代表
- ・総合型地域スポーツクラブ代表
(成田スポーツアカデミー・エンジョイ中台SS・ハッピーハンドフレンズ)
- ・成田市校長会代表
- ・教育部長
- ・学務課長
- ・スポーツ振興課長
- ・文化団体連絡協議会代表
- ・成田市教頭会代表
- ・教育部担当次長
- ・生涯学習課長
- ・文化国際課長
- ・各関係課員

令和8年3月以降、休日の部活動は地域に移行され地域クラブとして活動することを目指しています。委託先であるオークスベストフィットネスでは、今後の地域クラブの指導者を募集しています。スポーツに限らず指導について興味がある方、指導をしたいという方は二次元コードよりお申し込みください。

連絡先:0476-20-1582 kyoshido@city.narita.chiba.jp (成田市教育委員会)



指導者登録用
二次元コード